

製品名: セルピン A6 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17766**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用**希釈倍率** IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:10000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	SERPINA6
別名	SERPINA6; CBG; Corticosteroid-binding globulin; CBG; Serpin A6; Transcortin
遺伝子 ID	866.0
SwissProt ID	P08185
免疫原	ヒト SerpinA6 の内部領域から得られた合成ペプチド。

背景

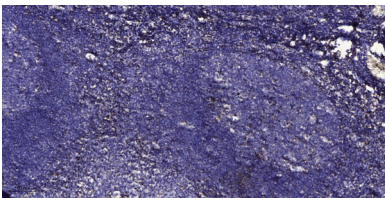
この遺伝子は、コルチコステロイド結合特性を持つ α グロブリンタンパク質をコードしています。これは、ほとんどの脊椎動物の血中におけるグルココルチコイドおよびプロゲステンの主要な輸送タンパク質です。この遺伝子は、複数の密接に関連するセリンプロ

テアーゼインヒビターを含む染色体領域に局在しており、これらのタンパク質は重複によって進化したと考えられます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、疾患：SERPINA6 の欠陥は、コルチコステロイド結合グロブリン欠損症（CBG 欠損症）の原因です [MIM:611489]。CBG 欠乏症は、コルチコステロイド結合能の低下を特徴とする極めてまれな遺伝性疾患であり、血漿コルチコステロイド結合グロブリン濃度は正常または低く、基礎コルチゾール値は正常または低く、低血圧/高血圧および筋疲労を伴う。機能：ほぼ全ての脊椎動物種の血中に存在するグルココルチコイドおよびプロゲステンの主要な輸送タンパク質。オンライン情報：トランスコルチンのエントリー、PTM：ステロイド結合には、Asn-260 位のグリコシル化が必要である。PTM：N-グリコシル化；5 つのオリゴ糖鎖に結合する。類似性：セルピンファミリーに属する。組織特異性：血漿；肝臓で合成される。また、多くのグルココルチコイド応答性細胞でも同定されている。

研究分野

シグナル伝達; 代謝; 脂質代謝; 疾患の種類; がん

画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した（4°Cで一晩）。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した（室温、30分）。